

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	・年末から年明けにかけては需要期に入ることから、かなり期待している。ただし、地域間の競争が激しくなっており、商店街の方は郊外にショッピングセンターがリニューアルオープンしたこともあり、ますます厳しい状況になっているが、当店は商店街店舗以外に郊外にも店舗を持っていることから、来客数が増加している店舗もあれば、減少している店舗もあるなど店舗間で売上に差が生じている。
		衣料品専門店（経営者）	・少しずつだが単価、来客数ともに上昇してきている。今後とも徐々に良くなる。
		ゴルフ場（経営者）	・客観情勢は良いと見ているので、そのままの流れで来年3月まで推移していく。
	変わらない	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・来客数が大きな変化をもたらす要素は見られない。年末年始の時期でイベント企画等、内容次第ではいくらかの向上が見込まれる。
		スーパー（経営者）	・来客数が前年を上回っていることから、売上は前年同月値を上回っているものの、客単価は依然としてなかなか厳しく、今後も他社の新店舗出店等が予定されていることから、厳しい状況が続く。
		スーパー（企画担当）	・先行き不透明な部分もあるが、競合の大型店出店から1年が経ち、競合各社の動きも落ち着き、安定する中で、景気も少しは上向き、今後も今の状態が続く。ただし、いつ足下をすくわれるか分からないという状況は変わらず、いまだに心配な面もある。
		コンビニ（経営者）	・景気は悪くもなっていないが良くもなっていない。客の買物に対して慎重な様子が見受けられる。
		コンビニ（エリア担当）	・大きなプラス要因はないが、大型スーパー等の開店も落ち着いてきており、これはコンビニにとってはプラス要因である。
		家電量販店（副店長）	・客は競合店との価格を比較をしている様子で、欲しい商品は値下げするまで待つという客の動向が増えている。また、競合店に単価を下げる動きがあり、当社も追随していかなければならないため、売上が厳しい状況が変わらず続く。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・台風や地震の被害による影響で観光客や地元客が減少するなど、購買力低下への懸念が変わらずある。
高級レストラン（副支配人）	・イベントなどがあまり効果を上げておらず、台風の影響などもあり、景況は良くない。今後も来客数の増加が期待できるような動きもないため、状況は変わらない。		
観光名所（職員）	・修学旅行客、団体客を中心に沖縄観光は変わらず好調に推移する。ただ台風、地震災害の影響により観光客の動きが鈍くなる可能性がある。		
やや悪くなる	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・台風の影響が大きく、営業日数の減少、生鮮食料の値上がり、交通機関のみだれ、本土の災害の大きさなどが響いている。	
	観光型ホテル（営業担当）	・今年のは年末年始の日並びが悪いことからか、大みそか、元旦前後の予約が伸びていない。	
企業 動向 関連	悪くなる	-	-
	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・受注量の増加が見込まれる。
		輸送業（総務担当）	・年末商戦を迎え、物量は増加し、売上も増加する。しかし、燃料費の値上げ等で全体的なコスト増となり、収支状況が厳しくなることも懸念される。
	変わらない	通信業（営業担当）	・現況が改善する気配が感じられない。
		不動産業（支店長）	・景気が良くなる兆しが見られない。
やや悪くなる			
悪くなる	輸送業（営業担当）	・相次いだ台風の影響により出荷量及び取扱量が減少する。	
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・大企業の景気が回復しているようで、特に県外の求人数が増えており、県外企業求人担当者の方々の動きが活発になっている。県外合同求人説明会も定員オーバーとなるなど、各企業の努力、採用意欲がうかがえる。
	やや良くなる	-	-

変わらない	人材派遣会社（経営者）	・人件費の単価が下がってきつつある状況の中、本土系の派遣会社が非常に勢いを増して沖縄で営業をかけており、過当競争となっている。人材のミスマッチもあり、仕事の依頼があっても、即、対応できる人材がなかなか集まらないことから今後も厳しい状況は変わらない。
	職業安定所（職員）	・新規求職申込件数は前年同月比で11.9%、月間有効求職者は前年同月比9.4%と、新規、有効求職者とも増加傾向にある。特に新規求職申込件数においては、雇用保険受給者及び県外希望の求職者が増加しており、新規求人数は前年同月比で47.9%と大幅な増加傾向となっている。今後も改善の動きはみられるが、求職、求人とも増加傾向で推移して行くものと考えられ、雇用情勢は依然として厳しい状況が続く。
	学校 [専門学校]（就職担当）	・景気低迷による官公庁の予算抑制に伴い、民間の設備投資控えも目立っており、今後も業界によっては景気の好、不況がより一層顕著になると思われることから、雇用状況は総じて平均化される。
	学校 [大学]（就職担当）	・観光産業は引き続き沖縄ブームで好調に推移するが、原油価格の上昇等景気の先行き不透明要素から企業は慎重になっており、今後も好転は望めず、現状維持で推移する。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-